学校番号	3016

令和３年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	英語表現	2	第３学年	三訂版　入試必携英作文 Write to the Point、ユメジュク

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・昨年度は World English で様々な表現をインプット＆アウトプットし、Factbook、LEAP、ユメジュクの小テストを通して基本的な語彙及び文法を学習してきました。その知識を最大限に活用して、難易度の高い英作文に取り組みましょう。

・英作文を行ううえで最も大切なことは、使い慣れた表現をできる限り用いることです。今までに学習したフレーズや語法知識を使えるレベルにまで持っていきましょう。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：「英語理解」（４単位）及び「英語表現」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・様々なトピックについて、具体例を用いて、論理展開が明確で、説得力のあるプレゼンテーションができる。 ・発表を聞き、質問したり、相手を説得したりするために自分の意見を述べることができる。	英語理解 英語表現 ・スピーキング活動	・様々なトピックに関して、時間をさほどかけずに、論点を明確にした上で、明確な論理展開の文章を書くことができる。 ・図表の特徴を的確に分析し、それに関して自分の意見を明確に述べることができる。	英語理解 英語表現 ・定期考査 ・パラグラフライティング	・自然な速さで話される様々な分野の講義や討論等を聞いて、必要に応じてメモを取りながら全体の概要を理解することができる。	英語理解 英語表現 ・リスニングテスト ・定期考査	・様々なトピックの評論文などを一定時間内に読み、全体の要旨を理解することができる。 ・社会的な話題や時事問題等についての評論文を精読し、情報や論理展開を的確に理解することができる。	英語理解 英語表現 ・定期考査 ・速読記録

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	英語表現の能力	英語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
三訂版入試必携英作文 Write to the Point (30時間)	1.主語の決定(1) 2.主語の決定(2) 3.目的の表現 4.理由の表現 5.時制(1) 6.時制(2) 7.動詞の語法 8.関係詞 9.時間の表現 10.数字の表現 11.仮定・条件の基本 12.仮定・条件の応用 13.比較の基本 14.比較の応用 15.譲歩の表現 16.重要表現(1) 17.重要表現(2) 18.Aは…だ 長文英作文 自由英作文 要約問題	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		自分の意見を表現するとともに，積極的にコミュニケーションを図る。	例文を積極的に音読する。 間違いを恐れず、自分の意見を表現し、コミュニケーションする。	間違うことを恐れず、積極的に表現し、発話者の発言内容を理解しようとしている。	ワークシート 観察 スピーチテスト
		「英語表現の能力」			
		学んだ文法・表現を効果的に用いて正確な文を書くことができる。パラグラフの構成に基づいて文章を書くことができる。	例文を通して言語材料となる表現を確認し、場面を想定して英語でまとまった内容を表現する。	学んだ文法･表現を使って，効果的に文を書くことができる。パラグラフの構成に基づいて論理的な文章を書くことができる。	定期考査 エッセイ･ライティング
		「英語理解の能力」			
		例文を文法的に理解し、自分で書いた英文が文法的に正しいかどうかを確認することができる。	生徒の書いた英文を確認し合うことで、文法的に確認し添削し合う。	他の生徒が書いた英文の確認をすることができている。	定期考査 観察
		「言語や文化についての知識・理解」			
		ポイントとなる語法･構文を理解する。	例文で用いられている用法を確認する。	学んだ文法･表現を理解し，知識として定着させている。	定期考査